

いばらき

2025年（令和7年）
7月1日 発行

7

No.1132
July 2025

◆編集・発行

茨城町 町長公室 秘書広聴課
〒311-3192
茨城県東茨城郡茨城町小堤1080
☎ 029-292-1111
メールアドレス
ibarakit@town.ibaraki.lg.jp

◆人口

住民基本台帳
令和7年5月末現在
男 15,207人
女 15,131人
総人口 30,338人
世帯数 13,708世帯

◆茨城町民憲章

- 1 ふるさとの自然を守り、美しい環境の町をつくりましょう。
- 1 からだをきたえ、教養を高めて、すこやかな町をつくりましょう。
- 1 隣人や家庭の愛を大切に、まごころのかよい合う町をつくりましょう。
- 1 自分の仕事に責任と誇りを持ち、活気に満ちた町をつくりましょう。
- 1 文化遺産を愛護し、先人の努力に感謝できる町をつくりましょう。

◆町の花 桜

◆町の木 梅

◆町の鳥 うぐいす

◆町の防災行政無線が聞き取れなかった場合
防災行政無線テレホンサービス
☎0800-800-8848
(通話料無料)

町ホームページにも放送内容を掲載しています。

◆町の情報発信中!!

- 町公式ホームページ
<https://www.town.ibaraki.lg.jp/>
- 町公式X（旧ツイッター）
<https://twitter.com/IbarakiTownMati/>
- 町公式Instagram
https://www.instagram.com/townibaraki_official/
- 町公式ライン
<https://page.line.me/?accountId=ibarakitown>



里山に育む生きものたち

No.156 ヒメジャノメ
(ジャノメチョウ科)

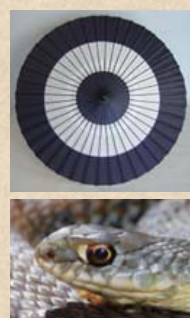
学名 *Mycalesis gotama fulginia*
Fruhstorfer

写真・文 小菅 次男

▼ヒメジャノメとは
丸みのある翅形で裏面中央に黄褐色の帯が走り、外縁に大小の目玉模様が並び、ジャノメチョウ科の蝶です。この模様が蛇の目に見えることからジャノメチョウの名が付けられました。
北海道、本州、四国、九州、南西諸島に広く分布し、国外では台湾から中国、インドのアッサム地方まで分布が伸び、九州以南の島に生息する個体には地理変異が見られます。
食草はイネ科、タケ科、カヤツリグサ科など多岐に多く、県内では平地から山地まで最も広く見られる普通種です。
茨城町でも晩春から初夏に薄暗い林縁や林内の日光浴をする姿が見られ、草むらや田畑、路傍などでも普通に見られます。

▼花より団子
飛翔は緩やかで、長く飛び続けることはなく、すぐ下草などにとまり、再び下草などから飛び立ちます。普段は翅を閉じているが、日光浴をする時には翅を全開にしてとまります。訪花性は弱く、花よりは団子とクヌギやコナラ類の樹液や腐果などに飛来して吸蜜する姿がよく見られます。
おとなしい習性で縄張りをつくらず、夕方盛んに活動して人家に飛び込むこともあります。産卵は午後3時〜6時ごろで、母蝶は葉裏にとまり、連

幼虫期を食草の葉裏や根元などで過ごし、越冬中にも摂食をします。しい習性を持っています。関東地方の平地では年3回、5月中旬〜6月中旬、7月中旬〜8月、9月〜10月に発生します。



▼蛇の目模様とは
蛇の目模様とは黒い円の中心を同心円で白抜きしたもので、この名称は16世紀の中頃の「朝倉始末記」の家紋についての記載が最も古いと言われます。家紋では加藤清正のものが有名です。
蛇の目の付く言葉としては「蛇の目傘」がすぐ浮かびます。北原白秋作詞の童謡「あめふり」の歌詞にある「じゃのめ」とはこの傘のことです。

統的に数個を産卵しますが、食草以外に産卵することがあります。

ちびっ子アート いばらき中央認定こども園



「だるまさんの歯」
しのはら みおん(5歳)



「ミッフィーちゃん」
いとう りお(5歳)